



第81回 ー第5章 「常に進歩をめざすところに生きがいがある」(その10)ー

★すべて良いものには値段がつく

この世の中のことが、すべて現品引渡し払いで行なわれるなら簡単でよいのだが・・・

農夫は、作物に水をやり、肥料を与えてさえいれば必ず利益が生まれる、という保証を与えられているわけではないのに、投資と努力を積み重ねて営々と仕事に励んでいる。

これは農夫が **柔らかい若芽の生長を信じている** からである。

しかし、中には、しっかりとした信念を持たずに怠ける農夫もいる。また、いよいよ作物に肥料を与え始める段階になって、信念が息切れするため挫折する農夫もいる。

かれらは「いったい、どれだけつぎ込めば収穫を期待できるんだろう？」

「つぎ込み方がまだ不十分だといっても、その目安はどうすればわかるのか」と問いかける。

これは、仕事に取り組んでいるすべての者が、その途中の段階で問いかける、至極もったもな質問である。そんなときは『**すべてよいものには値段がつく**』という言葉思い出してほしい。豊かな収穫に恵まれて、経済的に順境に立てば、農作物の代金前払いさえも要求できるようになる。

人生は見えざる力に頼みながら、ステップ、ステップを切り抜けていくようにデザインされている。

見えざる力の働きを信じる者には、自分ひとりでやっていけるような生活の場面があるとはとても考えられない。

信念に励まされて自分の夢を固く信じ、今日一日、最善の努力をしよう。

もし、日々の努力を怠るようなことがあったら、気を取り直して栄養を補給し、心を再び活性化しよう。

ものごとは、決して順境にいかない。何回も挫折に遭うと思った方がよい。

しかし、**最後の勝利を信じてそれらを乗り越えていくのだ。**

たとえ信念がなくとも、熱意を持って粘るヒトにはかなりの成果が期待できるだろう。

そして、もし、信念があるなら、より早くその勝利（豊かさ）を得られるであろう。

<MIKO>

📖 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より